



# SSH通信

## 第58号

令和8年6月18日 発行

東京都立富士高等学校

東京都立富士高等学校附属中学校

〒164-0013 東京都中野区弥生町五丁目21-1

電話 03-3382-0601

最寄駅 東京メトロ丸ノ内線 中野富士見町駅

## 探究合宿 「探究とは何か」

中学1学年が探究合宿で「探究とは何か」について考えました。探究発表会が近付いてきました。相互評価活動や富士未来構想サポートチームによる指導を受けて、ポスターを改善する姿が見られました。

### 富士未来学Ⅰ「探究合宿」中学1学年

中学1学年の生徒が6月4日（木）から1泊2日で探究合宿に行ってきました。富士山が見える場所で「探究とは何か」について考えました。

#### 討論講座

1日目の午後から始まる討論講座では、原子力発電をテーマに、ディベートでは、生徒が各々の立場から、メリット・デメリットを論理的に説明し、他者の異なる意見や考え方にしっかりと向き合いながら、討論を進めていきました。ディベートを終えた生徒からは「相手の意見を尊重することの大切さを感じることができた」や「相手の主張を頭の中で整理したうえで、反論を考えることが難しかった」といった感想が聞かれました。

#### 探究とは何か

1日目の夜から2日目にかけては、グループごとに「探究とは何か」を考え、ポスター作成に取り組みました。探究と勉強は何が違うのか、どのグループも個性が光る図表を用いてまとめており、探究学習への理解を深めることができました。またポスター発表では、6年間の富士未来学を通じて、どのような「探究者」になりたいかについても発表しました。グループ相互に活発な質疑応答がなされ、2日間の活動を通して、他者の異なる意見や考え方を受容・尊重しようとする意識を高めることができたかと思えます。



より良いポスターに

富士未来学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ「ポスター作成」全学年探究発表会に向けて、各学年のポスター作成が大詰めを迎えています。中学全学年と高校1学年は富士未来学で学習したことを、高校2学年は課題研究の中間報告をポスターにまとめました。また、高校3学年は6年間の集大成として課題研究の成果を英語でポスターにまとめました。ループリックを基に自己調整しながら改善する姿が見られました。

## 東大駒場リサーチキャンパス見学 6月6日(土)

東京大学駒場キャンパスで開催された、「東大駒場リサーチキャンパス公開2026」に中学生39名が参加しました。「コンクリートの物性と構造物の耐久性」「昆虫がもつ驚異的な嗅覚のしくみをのぞいてみよう!」といった研究室公開やブース展示を見学し、様々な最先端の研究に触れることができました。参加した生徒からは、「専門的なことが知れたので、良い経験となった。また、最先端の技術でプログラミングなどができて良かった」といった感想がありました。



## 富士アカデミー サイエンスカフェ (生物)

6月12日(金)

富士アカデミーサイエンスカフェ(生物)の第1回を実施しました。講師には、国際生物学オリンピック銀メダリストである津島彰悟さんをお迎えしました。本選および国際大会で扱われる問題の特徴や考え方について、実際の出題例をもとに御講義いただきました。参加した生徒からは、「細かい知識を覚えることに力を注いでいたが、教科書レベルの知識を完璧に理解することの大切さを教えていただき、学習への考えが変わった」といった感想がありました。

## 第1回理数セミナー 6月13日(土)

「～富士未来学を究める～ 宇宙・元素・生命・AIを考えよう」

講師 京都大学 名誉教授 馬場正昭先生

前半は、「生命の源は宇宙から降ってきた」をテーマに広大な宇宙からミクロな細胞の世界にわたり、元素、遺伝子、星や惑星の誕生など、幅広い話題について講演いただきました。後半は、AIの活用について活発なディスカッションが行われました。また、馬場先生ご自身の体験とともに、研究者の魅力や面白さについてもお話があり、将来を考える機会にもなりました。講演後の生徒からは「現代の環境問題から、はるか昔の宇宙のことまでつながっていることがわかった。生命は宇宙から降った原子力のことなどで理解を深めることができた」「様々な分野のことや研究者のことなどについて知り、それを根本から見直すことで探究がどのようなものか学ぶことができた」といった感想が聞かれました。



個別指導の様子

## 富士未来構想サポートチーム (課題研究強化週間)

富士未来構想サポートチームによる指導は、課題研究の深化を目的としています。本校の教育活動に御理解をいただいている大学や企業の研究者などの有識者や卒業生による指導です。6月の探究発表会に向けて、課題研究の個別指導と、オンラインによる口頭発表の指導を同時並行で実施しています。御指導いただいたことを基に、課題研究の改善に繋がっていきます。